



ハウスフーズ 豆腐工場見学 3年生

ニューヨーク日本人学校（岡村富広校長）初等部3年生は11月28日、同州にある「ハウスフーズ」へ社会科学学習の一環として豆

腐工場見学に出かけた。児童らは工場の生産ラインを間近で見学し、豆腐ができる様子を真剣に観察していた。24時間体制で毎日12万丁もの豆腐を作っていることや、米国各地だけでなくカナダやヨーロッパにも出荷していることに驚いていた。また豆腐作りも体験し、「味がとてもまろやか」と満面の笑みを浮かべていた。

この日の学習を通して、1丁の豆腐ができるまでにさまざまな工程や工夫があることを知り、自分の口に入るこの豆腐の美味しさやありがたみを実感した。

ニューヨーク日本人学校
二年長島あかり
一月一日、あ
たらしい年の
はじめの日。

「アメリカンな感動 （マニトワ校との交流にて）」

ニューヨーク日本人学校小6

出口 結



楽しかった。今までで一番楽しかった。なぜだろう。特に去年と何かちがうという訳でもないのに。そして何よりうれしかった。

今回私のパートナーは女の子二人。アマンダちゃんとかリーちゃんだった。二人とも明るく、優しかった。

正直私はこれまでの交流

会は、ゆううつだった。英語で話せないし、だんまりだったし、楽しいとは思わなかった。けれど今回はすごく楽しかった。話も出たし、名前も呼び合えた。そして私が今回一番うれしかったことは、最後にハグをしたことだ。歌を歌った後に、二人とした。私はとても感動した。今思えばアメリカンだな、と思う。アメリカ力に来て初めてハグをした。

その後、ホールを出るために並んだ時、アマンダちゃんがわざわざハグをしてくれてくれたのだ。私はとてもうれしかった。上手く言葉に表せないけれど、とにかくうれしい。今でも思い出すと胸がきゅーっとなるというか、思わず笑みがこぼれる。アマンダちゃんはホールから出る時に手をふって、見えなくなるまで手をふり続けてくれた。

何回も言うが、私は初めてこんなに楽しい交流会をした。そしてうれしかった。うれしいの一言だ。初めてアメリカ人であんなに親しくできたと思う。私はアマンダちゃんが好きになった。（滞米1年3か月）